

## 第5学年 国語科学習指導案

児童 男10名 女4名 計14名  
指導者 小濱 久仁子

1 単元名 人物の考え方や生き方をとらえよう「わらぐつの中の神様」(光村図書 五年下)

### 2 単元について

第5, 6学年の学習指導要領「C読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」である。本単元は、「C読むこと」の内容「ウ 登場人物の心情や場面についての描写など、優れた叙述を味わいながら読むこと。」を指導することに適した単元である。「わらぐつの中の神様」は、不格好なわらぐつでも心を込めて作ったものだからこそ本当の価値があるという話を、祖母の語りを通して伝えられる、温かい心の通い合いを描いた物語である。児童を取り巻く環境は、豊かさにあふれており、欲しい物はたいてい手に入れることができる。そのためか、物を大切にするという意識も希薄である上、その物の中身よりも外見のよさにとにかくひかれがちである。本教材は、このような時代であるからこそ、児童に出会わせたいと考える。中心人物がはっきりしており、心情の変化もとらえやすいので、児童も読み取りやすい内容であろう。

これらのことから、人物の会話や行動から、物の本質への考え方や人間としての生き方を読み取るのに適した教材であると考ええる。

児童は、これまで「新しい友達」で、クロッカスの役割や坂本君の言葉から、登場人物の心情の変化を読み取る学習をしており、叙述に即して心情を読み取ることはある程度できるようになっている。また、「かばんの中にかばんを入れて」で主人公とかばんとの会話や行動から、気持ちの変化を読み取ることを学んでいる。しかし、個人差が大きく、「一人学び」において重要な語句や表現を見つけられず、自分の考えをまとめられない児童も数名いる。考えをまとめることができても、自分の考えに自信が持てず積極的に表現できない児童も少なくない。「学び合い」では、ややもすると考えを交流するにとどまり、互いの考えの良さを認めながら深め合うことができているとはいえない。

指導にあたっては、おみつさんの人柄や人との関わり合いに着目し、考え方や生き方を読み取ることに重点をおいて進めていきたい。「見通す」段階では、全文を読み初発の感想を書かせ、心に残った場面やそれについての自分の考えを話し合い、学習課題を持つ段階としたい。「深める」段階では、場面ごとに様子や登場人物の気持ちを読み深めていきたい。そのために、「一人学び」や予習のための視写ノート作りを行い、中心人物の会話や行動に着目し、読みを深めるとともに、自分の考えをもってまとめられるように工夫していきたい。「学び合い」では、「一人学び」や視写ノート作りでまとめた考えを互いに聞き合い共通点・相違点に気づかせつつ、おみつさんの人柄や人との関わり合いに共感しながら読み取っていくことを大切にしたい。「確かめる」段階では、マサエの立場に立って祖母に宛てた手紙を書くことで、読み取ったことを生かして表現する段階としたい。

本時の学習では、大工さんが次々と続けてわらぐつを買ってくれた理由を考え、おみつさんと大工さんの人柄や関わり合いを読み取らせたい。「とらえる」段階では、前時の、わらぐつが初めて売れたときのおみつさんのおがみたいほどうれしい気持ちについて想起させ、本時の学習課題を確認していきたい。「ふかめる」段階では、おみつさんがわらぐつを編んだときの気持ちを考えさせ、はじめは雪げたを手に入れたためにお金を貯めようということから、履く人のことを考えて一生懸命編むようになったことを確認し、「一人学び」で大工さんが続けてわらぐつを買ってくれた理由が分かる手がかりとなる文にサイドラインを引かせ、仕事に対する姿勢について考えさせ、自分の考えを書き込ませる。「学び合い」で、より深くおみつさんの人柄や大工さんの考え方を話し合わせ考えさせていく。そこで、おみつさんと大工さんの考え方に共通点があることを読み取らせたい。「まとめる」段階では、学び合いをもとに読み取ったことをまとめさせたい。

### 3 単元の目標

心に残る文章，情景や場面を楽しんで読もうとする。(関・意・態)

登場人物の人柄や場面の情景を，叙述に即して読む。(読ウ)

現在 - 過去 - 現在という物語の構成とその効果について理解する。(読ウ・言オ)

方言と共通語の違いを理解する。(言カ)

#### 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読むこと	言語事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>人と人との温かい心の交流を感じ，心に残る言葉や文章，情景や場面を楽しんで読もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の人柄や場面の様子情景を叙述に即し，味わいながら読むことができる。(ウ)</li> <li>主人公の気持ちの変容を読み取り，現在 - 過去 - 現在という物語の構成の効果を理解することができる。(ウ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>方言と共通語の違いを理解しそれぞれのよさを感じ取ることができる。(カ)</li> </ul>

### 4 指導計画(10時間)

過程	学習内容	主な学習活動	学習活動における評価規準
見通す (2)	全文を読み学習の見通しをもつ。	全文を読み，初発の感想をもつ。	読 - ア 物語に興味をもち，登場人物の人柄について考えながら読もうとしている。 A 進んで全文を読み，心に残る言葉や文章を見つけ，発表している。 B 初発の感想をもち，話し合いに参加している。
		場面を分け，学習計画を立てる。	読 - ウ 場面毎に中心人物の心情に関わる課題を作ることができる。 A 場面の様子や，心に残る言葉や文章から中心人物の心情に関わる課題を作ることができる。 B 中心人物の心情に着目して課題を作ることができる。
深める (7)	場面ごとに読みを深める。	マサエとおばあちゃんの人柄や考え方を読み取る。	読 - ウ マサエとおばあちゃんのわらぐつに対する見方の違いを読み取ることができる。 A わらぐつに対する見方の違いを根拠を明確にして読み取ることができる。 B わらぐつに対する見方の違いを読み取ることができる。
		おみつさんの人柄や心情について読み取る。	読 - ウ おみつさんの雪げたをどうしても手に入れた心の高まりを読み取ることができる。 A おみつさんの雪げたに対する思いに共感し，会話や行動から，心の高まりを読み取ることができる。 B おみつさんの会話や行動から，心の高まりを読み取ることができる。
		仕事に対するおみつさんの姿勢を読み取る。	読 - ウ 物の本質を考えて仕事ができる，おみつさんの人物像をとらえることができる。 A 見かけよりも本質を大切に考えてわらぐつを作っていることを，家族の反応と比較しながら読み取ることができる。 B 見かけは悪くても，履く人のことを考えて作

			<p>っていることから，おみつさんが見かけよりも本質を大切に考えて仕事をしていることを読み取ることができる。</p>
		<p>世間の見方に自信をなくしていくおみつさんの気持ちを読み取る。</p>	<p>読 - ウ 自分の仕事に対する世間の見方に，自信をなくしていくおみつさんの気持ちを読み取ることができる。</p> <p>A 町の人の悪口のために自信をなくしていくおみつさんの気持ちに，共感しながら読むことができる。</p> <p>B 町の人の悪口のために，仕事に対する自信をなくしていくおみつさんの気持ちを読み取ることができる。</p>
		<p>初めてわらぐつが売れたときのおみつさんの気持ちを読み取る。</p>	<p>読 - ウ 初めてわらぐつが売れたときの，おみつさんの気持ちを読み取ることができる。</p> <p>A 大工さんをおがみたいほどうれしいと思うおみつさんの気持ちに，共感しながら読むことができる。</p> <p>B なぜおみつさんは，大工さんをおがみたいほどうれしいと思ったのかを理解することができる。</p>
		<p>おみつさんと大工さんの心の通い合いについて読み取ることができる。 (本時)</p>	<p>読 - ウ わらぐつに対する態度に表れている，大工さんの考え方を読み取り，おみつさんとの心の通い合いを読み取ることができる。</p> <p>A 大工さんの仕事に対する考え方や人柄を理解しおみつさんとの心の通い合いを読み取ることができる。</p> <p>B 会話や行動から大工さんとおみつさんの心の通い合いを読み取ることができる。</p>
		<p>おばあちゃんの話聞いてマサエの心がどう変わったかを読み取ることができる。</p>	<p>読 - ウ おばあちゃんとおじいちゃんの実話だと気がついた後のマサエの変容について読み取ることができる。</p> <p>A 現在 - 過去 - 現在という構成に気づきその効果や面白さを味わいながらマサエの変容について読み取ることができる。</p> <p>B 現在 - 過去 - 現在という構成に気づき，マサエの変容について読み取ることができる。</p>
<p>確 か め る  (1)</p>	<p>読み取ったことを表現する。</p>	<p>マサエからおばあちゃんへ宛てた手紙を書き，感想を交流する。</p>	<p>読 - ウ これまでの学習を生かして，マサエの立場からおばあちゃん宛の手紙を書くことができる。</p> <p>A マサエの立場に立ってマサエの気持ちを豊かに想像しながら書き，友達の感想の良いところを見つけることができる。</p> <p>B 学習したことをもとに手紙を書いている。</p>

5 本時の指導

(1) 本時の目標

大工さんがわらぐつをいつも買ってくれる理由を物事に対する見方・考え方と関係づけて読み取ることができる。

(2) 展開

過程	学習活動 主発問	学習活動に対する支援等 具体的評価規準
とらえる (5)	1 前時の学習を想起する。 2 学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">             どうして、大工さんはいつもわらぐつを買ってくれたのだろう。           </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>わらぐつが初めて売れたときのおみつさんの気持ちを確認する。</li> </ul>
ふかめる (30)	3 学習場面を音読する。 学習場面 (P16L12~P20L6) を音読し、学習の見通しをもつ。 4 課題解決をする。 仕事に対するおみつさんの考え方を想起する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>一つめのわらぐつを作っているときのおみつさんの気持ちを想起する。</li> </ul> <p>大工さんが次々とわらぐつを買ってくれた理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大工さんがわらぐつをどう見ているかが分かる所にサイドラインを引いて抜き書きし、自分の考えを書き込む (一人学び)。</li> </ul> <p>大工さんとおみつさんの考え方の共通する部分について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>考えを発表し、他の児童の考えと比較し、読みを深める (学び合い)。              どうして、大工さんはいつもわらぐつを買ってくれたのでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指名読みで学習場面を確認する。</li> <li>おみつさんが心を込めてわらぐつを作っている様子が書かれているところを確認させる。</li> <li>どんなわらぐつだったか確認する (見かけは不格好だが、雪げたを手に入れるために一生懸命編んだもの、履く人が履きやすいように心を込めて編んだもの)。</li> <li>市の度毎に買ったということをおさえ、大工さんの考えに気付かせる。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>具体的評価規準</p> <p>わらぐつを通して、おみつさん・大工さんの人柄を読み取ることができる。</p> <p>A 使う人の身になって心を込めて作ったおみつさんとそれを理解している大工さんの仕事への考え方に共通点があることを理解することができる。</p> <p>B 使う人の身になって心を込めて作ったおみつさんとそれを理解している大工さんの仕事への考え方を読み取ることができる。</p> </div> <p>(手立て)</p> <p>おみつさんや大工さんの様子や会話からわらぐつを作るときに気を付けたことや人柄を読み取らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>おみつさんのわらぐつを作ったときの気持ちと大工さんの言葉 (「いい仕事ってのは、見かけで決まるもんじゃない。使う人の身になって、じょうぶで長もちするように作るのが、ほんとのいい仕事ってものだ。」) がぴったりと重なることに気付かせる。</li> </ul>

ま と め る  ( 1 0 )	5 本時のまとめをする。 本時の課題に対するまとめをする。 ・ ノートにまとめを書く。  まとめ例 大工さんは見かけじゃなくはく人の身になって作られたわらぐつから，おみつさんのひたむきさが分かったから，いつも買ってくれた。	・ 学び合いや板書を手がかりに，本時のまとめをさせる。 ・ 机間指導や発表の中で，児童の考えについて良いところを取り上げ，意欲をもたせる。
	6 次時の学習内容を知る。	・ 次時は，祖父母の実話であることを知ったマサエの気持ちを考える場面であることを知らせる。

( 3 ) 評価

大工さんがわらぐつをいつも買ってくれる理由を物事に対する見方・考え方と関係づけて読み取ることができる。

( 4 ) 板書計画

